

印刷屋さん

Vol.20

2011.10.11

発行/株工陽社 塩釜市尾島町8-7
TEL:022-365-1151 FAX:364-9965
URL: <http://www.kohyohsha.com/>

いよいよ来月1日より年賀状が発売になります

この度の震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年も年賀状準備の時節となりました。

当社では来月の年賀はがき発売にむけてパンフレットを作成中です。まもなくお客様のお手元にお届け致します。

今年も下記のように多彩なサービスを準備致しました。担当営業までお申し付け下さい。

“年賀状”が災害より立ち上がられた皆様のお声をお届けするお役に立てればと思います。

マー君 工陽社マンになる



お客様に合わせたサービスを!!!

早割で
10%引き

「カラー印刷をしたい、でも予算が…」と考えている貴方に! 当社なら11月22日までにご注文頂ければなんと10%引きになります。

シンプル

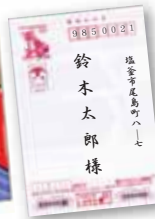
従来のスミ1色印刷も豊富な見本からお選び下さい。又お客様のデータからでも印刷が出来ます。どうぞなんなりとご相談下さい。

オリジナル

貴方だけの年賀状を作りませんか!! お子さんや新婚さん又ペットや風景等のオリジナル年賀状で今までと違った趣向を是非お試し下さい。

宛名書き

パソコンでやってみたいけれど、面倒だなと思う方。自宅のプリンターのインク代がけっこうかかるよね!とお考えの方。手書きで出したいけれど、時間のない方や手書きに自信のない方。工陽社にお手伝えして下さい!住所録はデータ(ワード・エクセル等)でも、お手持ちのアドレス帳でもOK!! 詳しくは担当営業にご相談下さい。



かんたんオリジナルカレンダー・業務用カレンダーのご注文も同時受付中!!

印刷屋さん vol.20 までを振り返って

ふと気づけば、印刷屋さんも今号でvol.20。発行から5年間。つたない記事ではありますがこれからも、まだ続きます。皆様、どうか、おつき合いの程よろしくお願いいたします。

ついに我社のPR誌もVol.20!!ここまで長かったような短かったような…。私も色々記事を書いて来ましたが、一番心に残っているのはVol. (Vol.8) の活版機の記事です。初めて一人で任された記事というのもあり思い入れがあります。我ながら良い出来栄えだった(笑)

S

昨年の夏、PR誌メンバーで「地元のスポーツチームを応援しよう！」企画で行ったベガルタ観戦が思い出深いですね。夏の暑い時期、ユアテックスタジアムに近づくと、もうサポーターの熱気がひしひしと伝わり、胸の高鳴りが治まらなかったです。マリノスには元日本代表の中村俊輔選手や中澤佑二選手がいて、いつもテレビ画面を通してでしかプレーを見られない選手が目の前にいる!と思うと感激でした。試合は惜しくも負けてしまったのですが、あのベガルタサポーターの一体感!まさに音楽のライブに近い物を感じました。あれはもう巨大な合唱であり、大物ミュージシャンが武道館で行うライブにも似ていました。

今年のベガルタは被災地宮城の思いを背に好調の試合を続けているように思えます。スポーツは実際にプレーする方にもそして観戦している方にも良い影響を与えるものだと思います。…とまあ、そのベガルタ観戦後、僕とS君は腹痛を起こしたんですけどね(笑)

O

毎号、編集を担当してきて、会議の中ではなかなか決まらない事も原稿締切になるとなんとか形になったものでした。中でもS君の映画“ゴールデンランバー”のロケ先に出向き、なりきり写真をとってきてくれたことを先日テレビで放送された映画をみて思い出し、記事ではほんの少しでしたが、その苦労をあらためて感じました。昨年の宮城のスポーツを応援する企画は印刷屋担当全員で観戦できた事も楽しい思い出です。また、毎年初日の出の写真を撮ってくれるW君の頑張りにも頭がさがる思いです。

4頁という限られた紙面に、その頑張りや苦労や楽しみを感じてもらえていたらうれしいですね。

みい

印刷屋さん編集委員
(社内情報委員会)
メンバーからvol.20を迎えての一言です。

これまでの情報誌「印刷屋さん」を作成してきて一番の思い出は、仙台七夕の飾り付けを作って飾ったことかな。色とりどりのたくさんのくす玉が作業場に所狭しに並んでいて、それはとても繊細で優美なところが心に残っています。vol.11にて掲載してあります。今一度みて下さい。キレイですよ!

はあ

発行当初は健康一口メモを担当していて、記事を考えながら自身の健康に注意をはらうようになりました。又、「私の女優論」を掲載した事も思い出です。次号も企画を考えるのが大変ですが、お客様のご要望、ご意見をお待ちしています。

佐

今回で「印刷屋さん」が第20号を迎え、私も発行当初から今まで、メンバーの一員として5年間がんばって来ました。振り返ると「印刷屋さん」が始まった時に我が娘が誕生。その赤ん坊が5歳を迎えるとは本当に時の流れは早いものです。あの時は何でもパパと呼んでいたのですが今では……寂しいことです。それでも、仕事も子育てもそして「印刷屋さん」も全力でがんばって皆様のお役に立てる情報をお届けします。

W

台風15号による“水の悪夢”再び!!

3月11日の東日本大震災から半年が過ぎ、誰もが“これからだ”と思っていた矢先、9月21日の台風15号により宮城県各地に豪雨が襲い土砂崩れや道路の冠水等の被害が相次ぎました。交通網は混乱し市民生活を直撃。又学校でも子供達の安全を確保する為に臨時休校の対策をとったところが多かったようです。

当社では人的被害こそありませんでしたが、半年前の震災で工場の設備が壊滅状態となり、そこからやっと設備が整い“これからだ”と思っていた時にまたしても“水の悪夢”が起きたのです。

9月21日の夜に急激に雨が強くなり、当社の工場でも1m以上も水位が上がり、再び半年前の震災時と同じ状態に……悔しい気持ち、やり切れない気持ちでいっぱいになりました。しかし、社員全員が直ぐに顔を上げ、一丸となって前へ進む決意で復旧に当たり、現在（9月29日）印刷機2台が稼働を始めています。まだ全ての機材が復旧していませんのでお客様にはご迷惑をおかけする事が有ると思いますが、一日も早い完全復旧を目指して頑張っています。



水没した印刷機

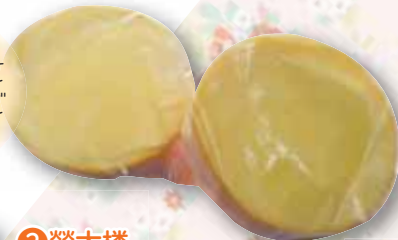


水没しゴミと変わった印刷用紙等

しおがまのスイーツを食べちゃいました

①ヤマギシの オレンジシャーベット

オレンジの香りが口いっぱいに広がってとてもフルーティーで爽やかに美味しい。



②榮太楼 なまどら焼

今や塩釜を代表するスイーツ今回は定番なまどらに季節限定菜なまどら！これ！まちがないおいしさ



③土井精菓 コーヒーロール

今も昔もかわらぬ美味しさ！コーヒーロールも超美味しいけどレモンパイも食べたかったナ！



④おさんこ茶屋 五色だんご

塩釜「和のすいーつ」おさんこ茶屋のだんごははずせないでしょ！なつかしい味で心癒されました♡

⑤りんごの木 アップルパイ



塩釜スイーツのルーキー!? 「りんごの木」のアップルパイまじうまかったっす！



ある朝、ずっと固い蕾だったひまわりが庭先で朝日の光の中で微笑むように咲いていました。

今年初めてひまわりの種を蒔きました。この種は、復興市の時に貰ったもので、『阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」はるかひまわり』と書いてありました。

1995年の神戸での大きな地震、その時、小学6年生のはるかちゃんが亡くなりました。その年の夏に彼女の家のあった場所に大きなひまわりがたくさん咲いたそうです。その花をみんなが「はるかひまわり」と呼び、その種をとって植え続けているそうです。

地球という大自然の中において、地震大国の地で生きる私たち。何が起こったとしても自然と向き合っていくことを余儀なくされている今、自然とも繋がって支えあっていると思う。それが花だったり、草木だったり私を癒してくれます。

今日(9.11)で震災から半年が経ちました。今思うと人のやさしさをあらためて感じ、普通の生活がどれほど幸せであるかということは今、実感しています。

私は3.11の震災を忘れることなく、経験したことしか伝えることができませんが、私の可愛い小さな孫達に伝えていこうと思っています。

今、日本というひとつの国に対して外からも中からも繋がりを感じます。 工務課 製造担当 西村

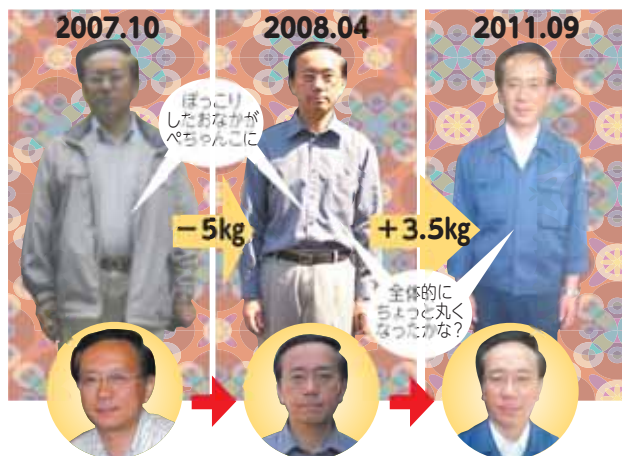
追跡 Before & After⇒リバウンド!?

我ら工務課リーダーの岸工場長。

2008年4月発行vol.6にて健康維持のため5kgのダイエットに大成功した記事を掲載しました。

が、最近の岸工場長…ちょこちょこ、ザ・Bigのお惣菜コーナーで見かけるし、お酒の話もよくしている様子。

そこで、岸工場長の体を思い『追跡！リバウンドチェック』を行いました。



岸工場長にお話を聞いたところ、やはり2008年4月当時は、アルコールは週末だけ、通勤も歩きにしたり散歩も欠かさなかったそうです。もちろん食事もお油をひかえたりと毎日の生活に気がついてたようです。

現在は、お酒は毎日、市販のお惣菜を好み、揚げ物を多く摂取することで正直に身体にでてしまうのですね。

岸工場長！元気に長生きして仕事を続けるためにはちょっと痩せて健康維持につとめて下さいね！！

普段から私は、お祭りやイベント等の人が混み混みする場所にはあまり行かないのですが(人混みが苦手なだけで、決して暗い人間ではありませんよ!)先日、生まれて初めて仙台市で行われた定禅寺ジャズフェスティバルに行ってきた。

特にコレと言った目的も無く、ぶらりと行ってみました。そこでは様々な人達が本当に楽しげに演奏をしていて、それを聴いている人達もみんなが笑顔で、心から楽しんでいるように感じました。

そして、そういう空間にいるうちに、いつの間にか私も楽しい気持ちになり彼らの作り出す音に聴き入っていました。

そして、私は思いました。

今からほんの半年前、あれだけの悲惨な震災が起こり多くの人々が涙を流しました…。普段見慣れた町が変わり果てた姿になりました…。

ですが、そこから力強く立ち上がり、今では町も人の心もこんなにも復興してきているのだと。

半年前なら音楽を聴いてみんなで笑い合う事が出来る日が来るなんて考えられなかったと思います。

人間の強さというものを感じられた気がしました。

「人間」と言えば、人間が生まれて産声を上げる「声」というのは「ラ」の音に非常に近く、人間の心に深く響く音なんだそうです。

フェスティバルが行われた日は震災からちょうど半年。

9月11日。そして2時46分、今回の震災で犠牲になった方々への追悼として演奏者達が一斉に「ラ」の音を響かせました。一分間という時間、「ラ」の音とその場に響き渡りました。

そしてみんなが静かにその音を聴いていました。

これから東北は更に復興に向けて前進していくと思います。そして、これからも多くの笑顔が生まれていくと思います。

ですが、どれだけ時間が経っても、どれだけ生活が元に戻っても、決して震災の事を忘れてはならないのだと改めて思いました。 工務課 製造担当 渋谷

編集後記

震災から6ヶ月程過ぎた9月21日(水)。台風15号による大雨は大きな被害を当社に及ぼしました。

道路側に面した事務所は床上浸水し、建物奥にある工場は事務所より更に低いため1m30cm程度水に浸ってしまいました。まさに“水の悪夢・再び”という感じです。心が折れそうになりました。しかし、こんな事に負けません。3.11同様にまた復旧作業を通じて会社全体が一つとなり、この困難を克服するのです。

試練を乗り越え、強い企業に成ります。

皆様よりのご支援ご協力の程宜しく
 お願いします。

